

# 情報共有 医療の質向上

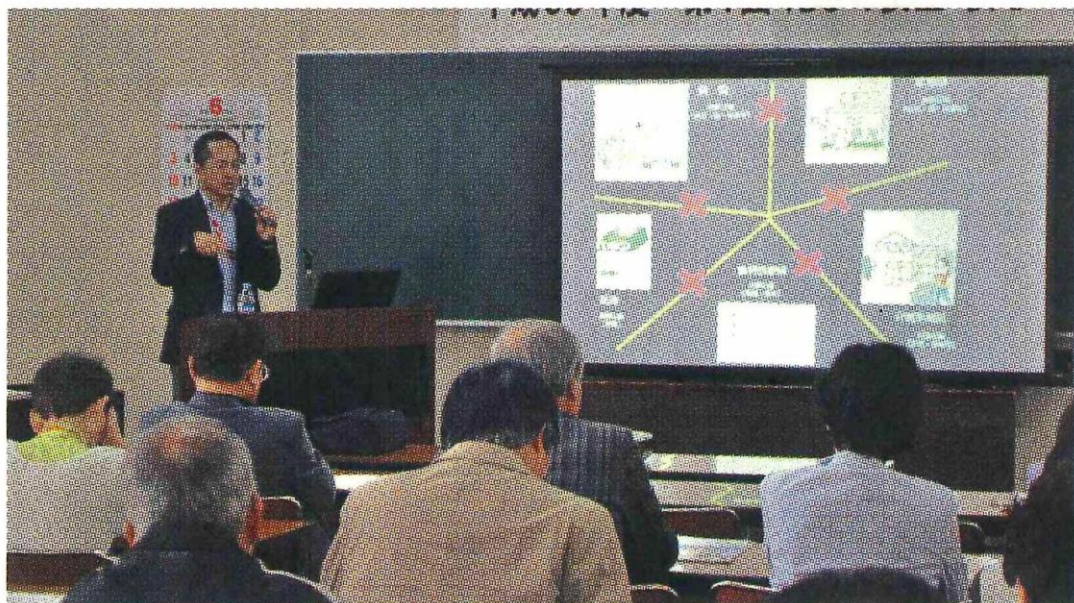
消費者協会 安全・安心セミナー

## スワンネット学ぶ

登別

登別消費者協会主催の平成30年度「第1回くらしの安全・安心セミナー」が9日、富士町の市民会館で開かれ、製鉄記念室蘭病院の地域医療連携室室長、鈴木正信氏が「地域医療・介護情報ネットワークシステム『スワンネット』について」をテーマに講演。参加した25人が医療・保健情報を共有するためのシステムについて学んだ。

1月から運用が始まったスワンネットについて鈴木氏は「西胆振地域の病院、内科・歯科診療所、薬局、介護事業所などが、スワンネットを通して皆さんの医療・保健情報を共有すること



スワンネットについて学んだ消費者協会のセミナー

で、より安全で質の高い医療・介護・健康サービスを提供できます。現在171施設が参加し、登録数は1万7200人います」と説明。同システムに参加するメリットとして①別の医療機関などでの治療や薬の状況を説明する手間が少なくなる②情報が共有されるため、他の施設での検査や薬の重複が少なくなる③救急搬送された時でも情報が共有されるため安心④万が一の災害の際にも情報を残すことができ、治療や介護を継続しやすくなる―などと解説。

講演後の質疑応答では「札幌の病院は参加しないのか」「健康診断や人間ドックの情報は共有されるのか」といった質問が参加者から出され、鈴木氏は一つ一つ丁寧に答えていた。参加者はメモを取りながら真剣に耳を傾けていた。

(古郡正人)